

「予算案で、国債償還比率が 30 % を越えています。

これは大問題では？」

令和元年 6 月 19 日

●無名さんからの質問

MMT は、現在の国債発行額が適正ではない、まだまだ発行できる、ということ伝えるためには有効だと思いますが、ではどれだけ発行するのが適正なのか、どこまでが限度なのか、返済の必要はないのか、という点を明確にしないままなので、いまいち乗り切れない人が多いのだと思います。理論上無限、などと言ってしまえば、絶対にその意見に賛成しない、という人もたくさん出てくると思います。反対に MMT 信者としかいいえないような暴論押し付けの方も出てきています。どれだけ発行するのが適正なのか、どこまでが限度なのか、返済の必要はないのか、についてお答えいただけないでしょうか。

●西田昌司の答え

国債発行の上限は、額ではなく、インフレ率によって決まります。現在、日銀が大胆な金融緩和をしてもインフレ率は目標の 2 % を達成できていません。政府は、3~4 % のマイルドなインフレ率となるまで国債を発行して財政出動をすれば良いのです。

●近藤さんからの質問

MMT についての質問です。経済や財政等について特別な知識を持ち合わせていない私なりに MMT を理解しているつもりでいるのですが、ただ一

点、疑問に思うことがあります。MMTによれば、要するに財政規律というのはPBとか政府債務の対GDP比とかではなくインフレ率でよいというのが私の理解なのですが、そうだとすると、MMTを実際の政策に落とし込んだ時、インフレ率をうまくコントロールできるのか？というのが疑問です。特に、教育の無償化とか子ども手当のような、国民個々人の人生設計に関わるような政策に割り当てた予算については、インフレ率が上がったからといって廃止したり縮小したりするのは難しいのではないのでしょうか？その辺りのうまい塩梅の仕方というのはあるのでしょうか？

●西田昌司の答え

国債発行がインフレ率を押し上げる危険はもちろんありますが、そのような時は税収が増えています。国債発行を抑えることで不足する歳入は、徴税によって賄えば済みます。インフレ率を見ながら、国債発行と徴税を適宜使い分ければ良いのですし、税収入を増やすためには、例えば源泉分離課税率を現行の2割から3割程度まで上げることもできます。現行の2割という数字は諸外国と比べても低すぎますから、本来はもっと上げるべきであると私はずっと主張してきました。

政策実行に必要な予算については、国債発行と徴税を適宜組み合わせることで心配ないのですが、そのことよりもMMTを活用する上で重要なのは、政府が長期計画をしっかりと示すことです。教育無償化、国土強靱化、国公立大学の授業料を下げるといったことを実行するにはどのくらいの予算が必要なのかをまずは各省庁に試算させ、必要な予算を毎年確実につけることを国民に示すことによって、国民の側も政府の長期計画に沿った事業計画を安心して立てることができます。

私が取り組んでいる新幹線ネットワーク構築の場合、15年で30兆円の予算があれば実現可能ですから、毎年2兆円が必要です。各省庁で必要な予算を合算したところ（例えば）年間10兆円の財源が不足するのであれば、その10兆円は新規に国債発行をして賄えば良いのです。そのように毎年10兆円

の投資を続けていくとそのうちにインフレ率が上がってきますが、同時に税収も増えてきます。そうなったら国債発行を抑制してその不足分を徴税すれば良いのです。

●岡部詔男さんからの質問

先日、日銀、財務省の国債の話がありましたが、民間金融機関が買った国債償還は金利も含めて国が日銀を通して償還しなければなりません。毎年の予算案で、国債償還比率が今や 30 %を超えて予算を圧迫しています。これは大問題ではないですか？もし、国債償還がなければ 30 兆円以上を予算で使えます。デカイ！

●西田昌司の答え

国債償還費が 30 兆円あったとしても、それと同額の国債を新規発行して借り換えをすればプラスマイナスゼロですし、国債の償還期間を先延ばしにしているに過ぎませんから全く問題ありません。このように言うと、「では国債の利払い費の負担は問題ないのか」との疑問を持たれる方もいらっしゃるでしょうが、実はこれも大した話ではないのです。

日本国債の半分近くを日銀が持っていますが、政府が日銀に支払った利払い費は、日銀の決算が終わると「国庫納付金」として政府に戻ってきます。残りの大部分は日本の企業が持っていますが、企業に支払った利払い費には税金がかかりますので法人税等によって約半分は政府に戻ってきます。

日本には「国の借金」や「財政破綻」といった問題は存在しません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>